

港区子ども・おとな・地域  
みなトーク事業

令和7年度 実施報告書

令和7年9月19日

## 目次

- |   |  |       |
|---|--|-------|
| 1 | 開催内容について   | P 1   |
| 2 | 実行委員会について  | P 1   |
| 3 | みなトークタイム<br>行きたくなる つながりたくなる 話したくなる港区<br>—港区の情報発信・情報共有— | P 3   |
| 4 | 参加者アンケートについて   | P 1 2 |



### 本事業の目的

子どもと子育て当事者、地域の子育て支援者など世代を超えた多様な人が集い、対話の場を設けることで、世代を越えた多様な人々の地域ネットワークを構築し、港区の子育て・子育て環境の更なる向上を目指しています。

※本報告書に掲載している写真の一部は、個人を特定することができないよう処理を行っています。

# 1 開催内容について

## (1) 背景と課題

港区では様々な施策やイベントが実施されているが、その情報が十分に届かず、日常生活や子育ての場面で活かしきれていないという声があります。必要な情報が適切に届けば、子育て支援の充実や地域のつながりの拡大につながると考えます。そこで、世代を超えて多様な人々が交流し、気軽に話し合える港区を目指し、「行きたくなる つながりたくなる 話したくなる」まちづくりのために、どのような情報発信が必要かを検討することとしました。

## (2) 実行委員会の設置

今年度より、区民の声を直接反映した懇談会運営を目指し、新たに実行委員会を立ち上げました。懇談会の開催に先立ち、7月5日及び8月2日の2回にわたり、実行委員会を実施し、懇談会のテーマや進行方法、「子育て年表」の改訂に向けた具体的な検討を行いました。

# 2 実行委員会について

## (1) 第1回実行委員会(7月5日(土))

第1回実行委員会では、懇談会で取り上げるテーマや話し合いの進行方法について、実行委員との検討を行いました。個人ワークやグループワークを通じて委員同士が意見交換を重ね、最終的な投票により、本懇談会のテーマを「行きたくなる つながりたくなる 話したくなる港区－港区の情報発信・情報共有－」に決定しました。

また、プログラム構成についても協議をし、初対面の参加者同士が自然に交流できる環境づくりを重視し、アイスブレイクとして「共通点探しビンゴゲーム」を採用しました。また、多様な視点からの意見収集を可能にするため、ワールドカフェ方式によるグループディスカッションを実施することを決定しました。



## (2) 第2回実行委員会(8月2日(土))

第2回実行委員会では、「子育て年表」の改訂に向け、実行委員から具体的で実践的な意見を収集することを目的として開催しました。



まず、年表に掲載すべき「子育てに役立つ情報」について、参加者が自身の経験や調査結果をもとに意見を出し合いました。意見を分類・整理したうえで、年表に反映すべき具体的な項目を抽出し、模造紙にまとめて発表することで、情報内容の充実やアクセス方法の改善に向けた方向性を明確にしました。特に、相談先の記載やQRコードによる情報アクセス、月齢ごとの情報整理など、実際に利用しやすい年表作成についての案が多く出ました。

続いて、「子育て年表のレイアウトやデザイン」について、参加者が個人でアイデアを書き出し、グループ内で意見を抽出・整理したうえで発表を行いました。年齢ごとのスペース配分、横向きレイアウト、必須・任意項目の明示、問合せ先やQRコードの掲載、Web上での検索項目設置など、年表をより見やすく使いやすくするための具体的な提案が出ました。

## (3) 「子育て年表」の改訂について

「子育て年表」は港区ホームページに掲載されており、お子さんの年齢に応じて、いつ・どのような手続きやサービスがあるのかが一目でわかる情報ツールである。しかし、現行ページは情報が分かりにくく、必要な内容を見つけにくいとの声がありました。

そこで、改訂作業にあたっては、実行委員会および本懇談会で参加者からいただいた意見を反映していく予定です。

### 3 みなトークタイム

## 行きたくなる つながりたくなる 話したくなる港区 —港区の情報発信・情報共有—

開催日時：令和7年9月6日（土）午後2時～午後4時

開催場所：港区子ども家庭総合支援センター

参加者：17名

（内訳）ファシリテーター 4名、子育て中の人 7名、

地域の子育て支援者 3名、学生 1名、その他 2名

#### （1）アイスブレイク 「ビンゴゲーム」

##### アイスブレイクとは？

話し合いなどの場でリラックスして話せるよう、本題に入る前に簡単なゲームや雑談でコミュニケーションを取り、緊張をほぐす方法のこと



参加者がお互いの共通点を見つけながら楽しめるビンゴゲームを行いました。まず3分間の準備時間で、配布したビンゴ用紙に記載された項目の中から好きな食べ物・スポーツ・科目をそれぞれ3つずつ選び、各マスに記入してもらいました。その後10分間、会場内を自由に歩き回り、他の参加者と会話をしながら共通点を探していただき、共通点が見つかった場合はそのマスに相手からサインをもらうというルールで実施しました。なお、追加ルールで、同じ人からもらえるサインは1マスのみにしました。縦・横・斜めのいずれかで列がそろったらビンゴ成立となり、最初にビンゴを完成させた3名と最も多くビンゴを完成させた方に、記念品を贈呈しました。

参加者は積極的にゲームに参加し、会場内を自由に動き回りながら初対面の方とも気軽に会話を交わす様子が見られました。お互いの共通点を発見することで自然なコミュニケーションが生まれ、その後のグループディスカッションにおいても、リラックスした雰囲気の中で活発な意見交換が行われる基盤となりました。

## (2) グループディスカッション

地域交流をテーマに、4名程度（ファシリテーターを含む）でグループディスカッションを実施しました。

より多くの人と話せるように、3つのグループに分かれて15分ごとにメンバーを入れ替えながらディスカッションを行いました。また、メンバーを入れ替えても、様々な世代の人と話せるようにグループを構成しました。

最後に、初めのグループへ戻り、話し合った内容や気づき、共有したいことを整理しグループごとに発表を行いました。



### みなトークタイム 4つの約束

1. 限られた時間をみんなで分け合いましょう。
2. 他の人の発言に耳を傾け、最後まで聴きましょう。
3. 相手のことを否定せずに、楽しく明るい雰囲気でお話ししましょう。
4. この場で話した内容は、SNS等で発信しないでください。

### (3) みなトークタイム

まず初めに、港区で子育てをする中で感じる魅力や課題について話し合いました。子育て環境について日常的に感じていることや困っていることなど身近な話題から、子育て家庭に役立つ情報や交流の仕組み、より良い子育て支援のあり方など、より具体的に話を進めていきました。

次に、港区での子育てや生活の中で「知りたかった」ことや「調べても分からなかった」ことについて意見を交わしました。子ども家庭支援センターや児童館のサービス、一時保育の利用方法、親子向けイベントの情報、近所の親子とつながる機会など、実際に直面した情報ニーズについて具体的な経験を共有できました。

最後のラウンドでは、これまでの話を踏まえ、「こんなふうに情報発信してほしい」という具体的な提案について話し合いました。情報の受け取り方、イベントや講座の情報提供方法、情報発信のタイミングや頻度、保護者同士で情報交換できる仕組みなど、より実践的なアイデアが多く出ました。

その後、最初のグループに戻り、話し合った内容を整理・共有しました。様々な立場の人と対話を重ねる中で感じたことや、「行きたくなる・つながりたくなる・話したくなる港区」を実現するためのポイントについてまとめ、情報発信の改善策など具体的な提案も多く出ました。



## 各ラウンドで出た意見と グループでのまとめ

ワールドカフェ方式での話し合いのため、ラウンド1はグループメンバーで話し合っていますが、それ以降はメンバーを入れ替えて話し合っています。



### 赤グループ ファシリテーター シュテファニー・レーツ

#### 【ラウンド1】港区の子育て環境や生活の魅力・課題を出し合おう

- ・猛暑が続く中、室内の遊び場「子育てひろばあっぴい」が区内のあちらこちらにあり、施設が充実していることはとてもありがたい。
- ・乗合バス「みなのり」は便利だと思う。（ただし、利用できるエリアは高輪地区で限られている）
- ・図書館のイベントが多いことが魅力的だと思う。
- ・近所の掲示板や港区の公式HPからたくさんの情報が得られる。
- ・出産前からサポートが手厚くて、産後ケアの助成金や産前産後の家事代行サービス補助金は助かる。窓口で案内してもらい、詳細について自分で調べた。
- ・公園でゴミ箱が少ないことを不便に感じる。

#### 【ラウンド2】港区での子育て・生活の中で『知りたかった』ことや『調べても分からなかった』ことはありますか？

- ・一つのサイトに子育て世代向けのイベントがまとまっていれば利用しやすい。
- ・ホームページの見やすさは大切だと思う。
- ・乗合バス「みなのり」のように素晴らしい取組はたくさんあるけど、知らない人が多い。（または、取り組みの存在は知っているけど、具体的な利用方法や条件について知らない）
- ・施設やイベントは充実しているのに、区民への情報発信は改善の余地がある。取り組みを知るだけで終わるともったいないので、認知度を上げた方がいい。
- ・港区は様々なSNSを積極的に使っている一方、フォロワーが少ない場合もあり、情報がきちんと届いているかどうかは心配。
- ・施設利用の登録方法の見直しや効率の良いスタッフ配置を課題に感じている。（子育てひろばあっぴい利用のとき、窓口/受付にスタッフが少なかったので登録だけに1時間近くかかったことがある）

#### 【ラウンド3】『こんなふうに情報発信してほしい』ことを話し合おう！

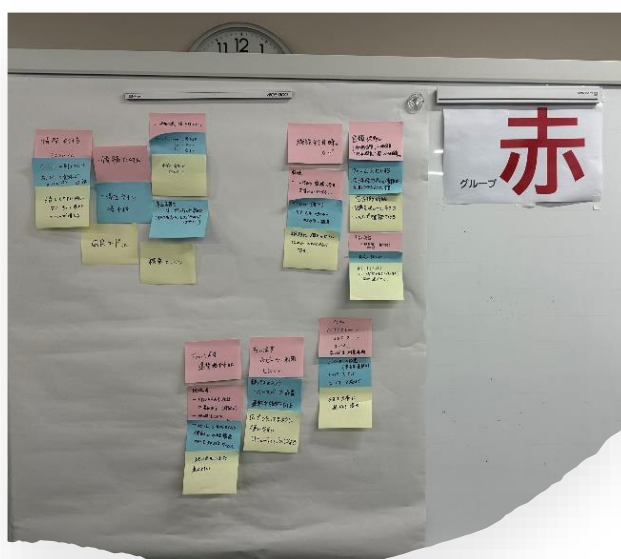
- ・区内の地域によって状況が違う点（交通の便、スーパーの数、等）に配慮する必要がある。
- ・図書館の掲示板には多くのイベント情報があるが、実際に来館しないと得られないため、オンラインでの発信も希望している。
- ・公式HP・LINE以外に、区内のグループチャットがあれば、より早いレスポンスや具体的な情報が得られる。ただし、プライバシー面の課題がある。

- ・学校教育では、転校生や外国籍の生徒・外国にルーツを持つ生徒の受け入れ対策を考える必要がある。
- ・紙のチラシなどはエコの観点から望ましくないし、限られた人だけに届く点も課題だと思う。
- ・保健所のイベントや交流会は、子どもの誕生日で参加対象が決まるため、4月1日生まれは「1つ上」扱いとなり、希望する年齢層の親と交流できない。もっと柔軟に扱っていただければ助かる。

## 【まとめ】

### 1 優先課題

- ・情報発信（情報がたくさんあふれていて、システム化になっていない）
- ・インフラや施設（充実している一方、認知度が低いと利用者が少ないし、利用しづらいこともある）
- ・施設などの利用にあたる手続きや利用条件（書類の多さ、年齢制限、受付にかかる時間）



### 2 具体的対策

- ・公式HPや広報、掲示板や港区公式LINE、港区オープンチャット等の活用でイベントや施設の周知を行う。
- ・エレベーター設置や「ちいばす」の無料化/ベビーカーを置くためのスリースペース設置。
- ・フォーム入力や母子手帳アプリの情報を引用できるようにして、環境の統一化を目指す。

### 3 対策結果～どんな港区に変わるか～

- ・情報が平等に行き届くことにより「子育てしやすい街になり、「もう1人産みたい」と思う人が増える。
- ・優れているインフラと施設のために、「子育て世帯に選ばれる港区」になる。
- ・年齢制限を廃止し、時間や手間をかけないで簡単に利用できる施設やイベントのおかげで、だれでも（子ども）・どういう家庭でも利用できる環境になる。

## 青グループ ファシリテーター 加藤 台喜

### 【ラウンド1】港区の子育て環境や生活の魅力・課題を出し合おう

- ・ちいばすや公園が整備され、子育てしやすい環境。
- ・子育てサービスは充実している。
- ・情報量が多いが、発信方法や整理が不十分で把握しにくい。
- ・出産後の手続きや子育て施設の利用方法が分かりづらく、管轄が分かれている。
- ・施設の登録や予約方法が施設ごとに異なり、利用が面倒。
- ・ちいばすは便利だが、ベビーカーでの利用にはやや不便。
- ・子育て年表が知られていない、文字量が多く分かりにくい。

### 【ラウンド2】港区での子育て・生活の中で『知りたかった』ことや

#### 『調べても分からなかった』ことはありますか？

- ・一時保育や子育て施設の利用について調べるとき手間がかかる。
- ・施設の利用枠が少なく、希望通りに使えない場合がある。
- ・行政情報は多いが、フォローする人が少なく、必要な情報が届きにくい。

### 【ラウンド3】『こんなふうに情報発信してほしい』ことを話し合おう！

- ・施設ごとの登録を統一し、一度の登録で区内の複数施設が利用できる仕組み。
- ・書類を減らし、QRコードやオンライン登録で手続きを簡単に。
- ・利用枠を地域ごとの子育て世帯数に応じて拡大。
- ・Line や SNS で情報をまとめて発信する。（申請リンク付き）
- ・区のアンバサダーや有名人を活用し、情報を広く伝える。
- ・施設やバス内でチラシや QR コードを活用した情報提供、動画での案内も有効。
- ・PDF やパンフレットで提供、時期ごとに必要な部分だけ見られる形式が望ましい。
- ・世代を超えた相互理解を促進し継続的な地域のつながりを形成することで、新たな知人関係を築き、子育て世代の交流環境を充実させることができる。

## 【まとめ】

### 1 優先課題

- ・子育て支援施設の利用改善
- ・情報発信の工夫

### 2 具体的対策

#### ・子育て支援施設

申請や登録の統一、QR/WEB/Lineによる簡易手続き、利用枠の拡大  
一回登録で一定期間は港区内で利用できるような登録システム構築

#### ・子育て支援施設利用枠の少なさ

地域ごとに子育て世帯の数をある程度反映して、子育てひろばの利用枠や  
予約数を増やす。

#### ・情報発信

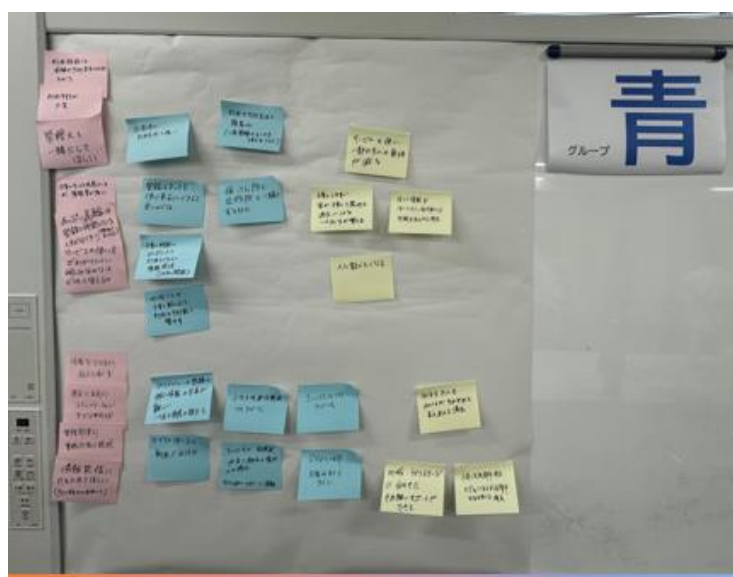
SNS・Lineでまとめて配信

区内在住の有名人やアンバサダー活用

施設やちいばすで目に触れる情報提供（ちらし・QRコード・動画）

### 3 対策結果～どんな港区に変わるか～

- ・区民の負担軽減・サービス活用の促進
- ・欲しい情報が届き、笑顔あふれる子育て環境
- ・子育てしやすく、地域全体で支え合う港区の実現
- ・子育てモデル都市としての港区の発展



### 【ラウンド1】港区の子育て環境や生活の魅力・課題を出し合おう

- ・例えば産後ケアサービスなど、予約状況がわかりやすい仕組みがあると便利になるだろう。
- ・いろいろな施設やサービスがあり充実しているが、情報へのアクセスが不便。それぞれのアプリで登録が必要で面倒。連動していないから初期設定が煩雑。一時預かりなどアレルギー等で都度登録するのは理解できるが、『あっぴい』（遊び場）などは各場所で登録するのは不便。
- ・ライン/アプリで予約すると時間がかかり、人づてに電話予約が一番手っ取り早いと聞いた。予約をとるにはアプリは使いづらい。
- ・外国人の転校生が多い。特に夏は一時的に転入する子が多い。外国人の子専用の学校があればいいと思う。
- ・区営の駐車場が少ないように思う。
- ・スーパーが少なくて不便。
- ・いろいろなソース（広報紙、公式ホームページ、掲示板、ラインなど）を見る必要があって不便。1か所で情報がまとまっていると便利になるのではないか。

### 【ラウンド2】港区での子育て・生活の中で『知りたかった』ことや

#### 『調べても分からなかった』ことはありますか？

- ・図書館情報は紙面でのみの情報取得なので、ネットで検索できると便利だと思う。
  - ・「広報みなと」は依頼すればポスティングしてくれる。そうしたこと自体を知らない人が多い。
  - ・「広報みなと」、地域の掲示板などで情報を得ることがある。
  - ・便利な制度や仕組みはあるが、広報が上手ではないと感じる。
- 情報があっても目にする機会が少なく、必要な層に情報が届いていない。
- ・情報が多く検索するのが大変。

### 【ラウンド3】『こんなふうに情報発信してほしい』ことを話し合おう！

- ・情報を入手するにはSNS、LINE、掲示板、母子手帳アプリを利用するのがいいのではないか。
- ・公式ホームページが見やすくなった。
- ・LINEは情報漏洩も心配。
- ・まとまった情報は多いので、それぞれの層にフォーカスした情報がほしい。（今子育て中で、子育て情報が一番ほしい。他の情報を見る余裕がない。）

## ● まとめ

### 1 優先課題

- ・外国人の転校生が多すぎる。
- ・駐車場（料金）の補助がほしい。
- ・駐車スペースが少ない。
- ・多様なサービスがあっても周知されていない。
- ・サービスによって予約が取りにくい。（あっぴい、ショートステイ）予約/利用を一本化できる仕組みがあるといい。
- ・情報登録するときに、誰に聞けばいいのかを整理してほしい。
- ・あっぴいを各施設ごとではなく、登録を共通にしてほしい。
- ・ちいばす（赤坂ルート）の反対ルートがほしい。
- ・色々利用できるサービスがあるが、情報が得られていないことがある。
- ・学校などで配布されたチラシが親に届かないことがある。

### 2 具体的対策

- ・情報、サービスの周知方法を確立する。
- ・担当相談員のような人がいると情報・伝達・相談などワンストップでできる。
- ・外国人の学校をつくる。相談員制度をつくる。
- ・対象の人ごとに使えるサービス等、情報を得やすく（アクセスしやすく）する。
- ・区営駐車場があると便利になるだろう。
- ・外国の人のための学校を作ってほしい。
- ・学校ではチラシを配らない。

### 3 対策結果～どんな港区に変わるか～

- ・子育て情報が1つのホームページにまとまっている。
- ・新橋ルート（ちいばす）をつくってほしい。
- ・学校で配布する紙を減らすと、環境にもやさしくなる。
- ・必要な支援が届きやすくなる。  
(忙しい子育て世代が様々なサービスを利用しやすくなる)
- ・各家庭の状況を把握したうえで、適切な情報やサポートを得られる。

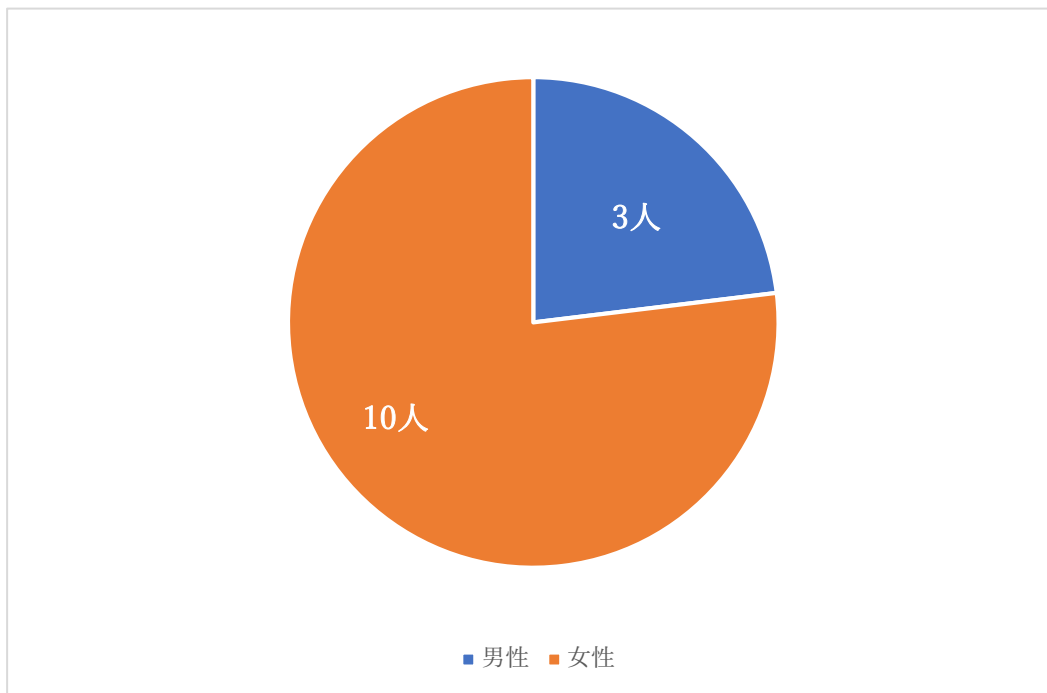


## 4 参加者アンケートについて

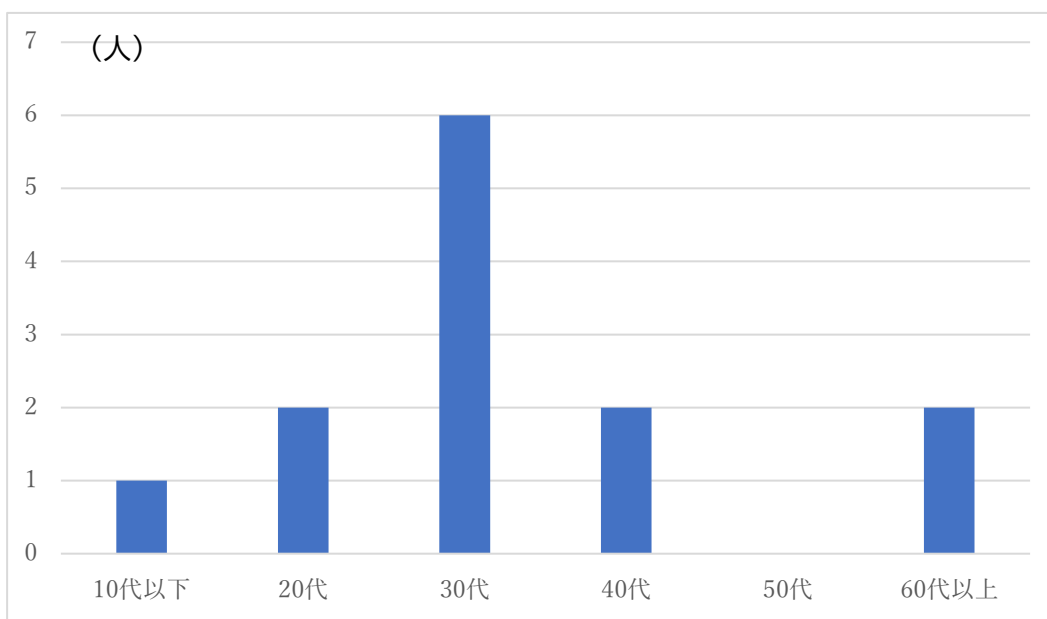
回答者数：13名

(1) あなたのことをおしえてください。

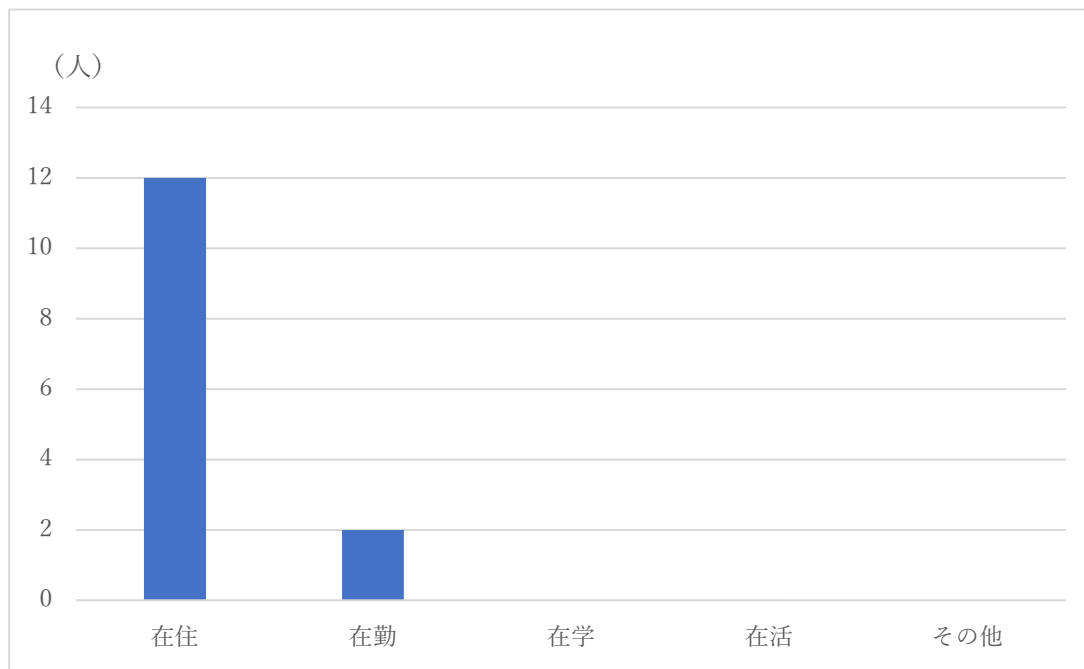
\*性別



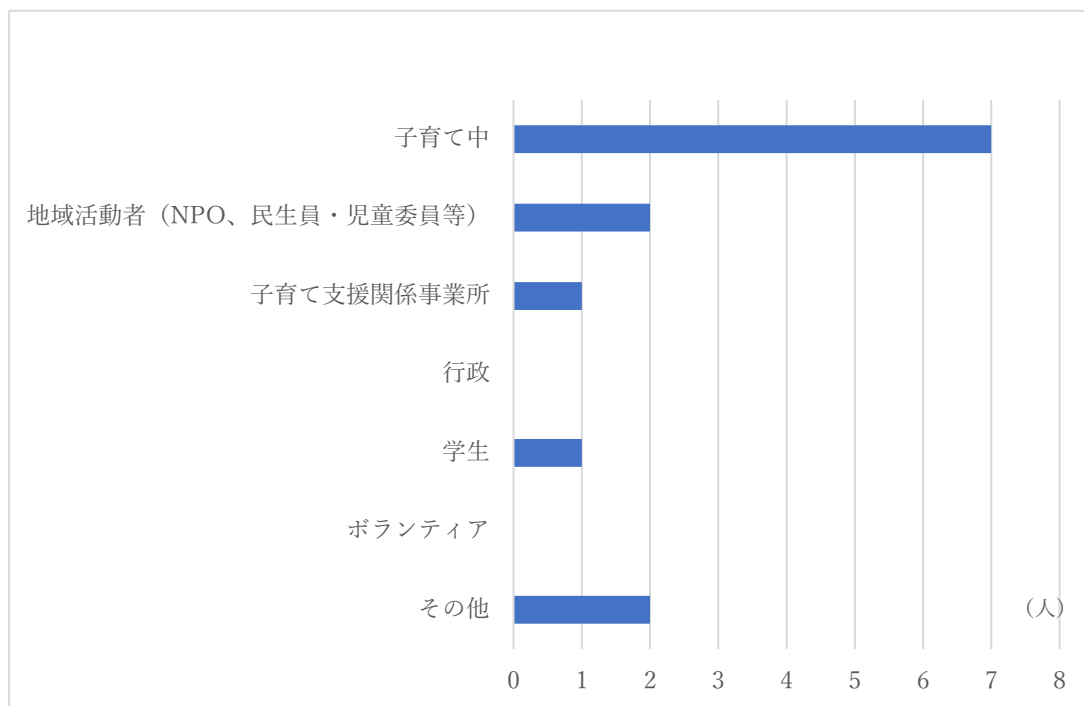
\*年代



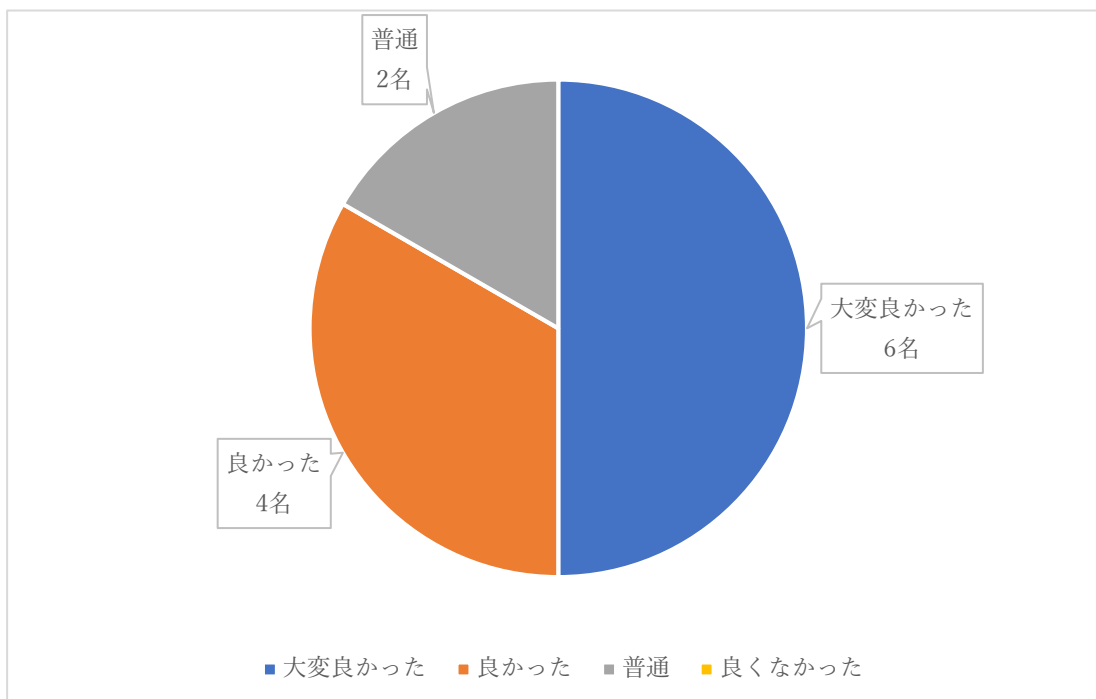
**\*港区とのかかわり**



**\*あなたの状況は**



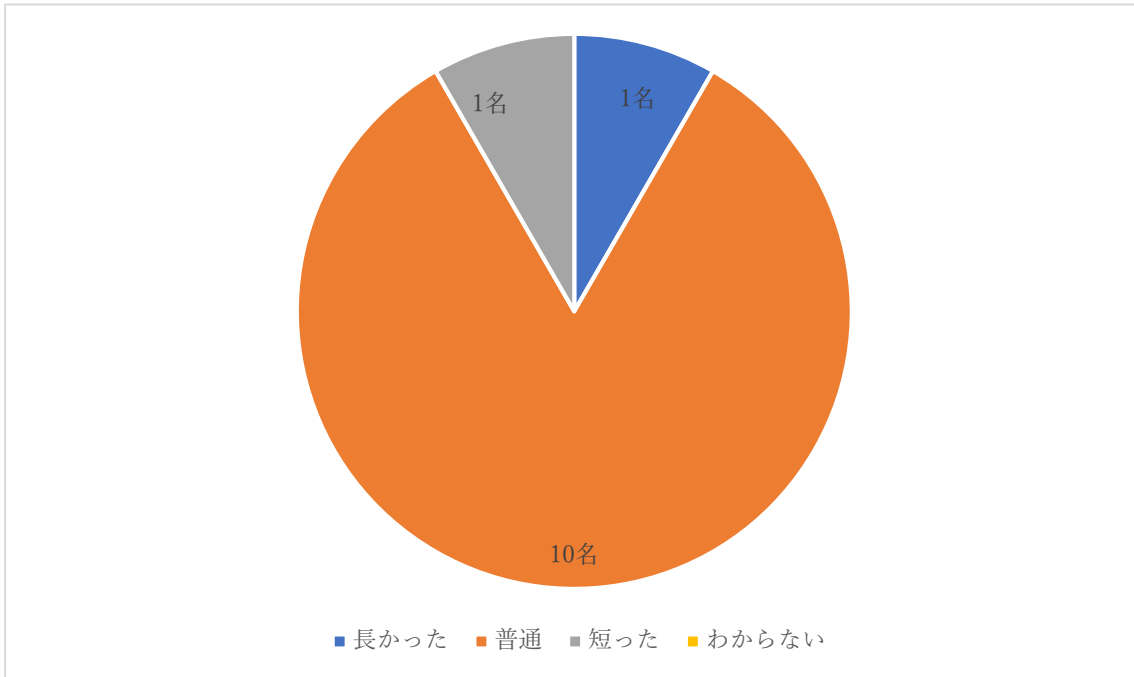
## (2) アイスブレイク (ビンゴゲームの内容はいかがでしたか。)



### \*どんな点が良かった・良くなかったか、ご記入ください。

- ・ビンゴ出来るように、選ぶものや配置など以外と頭を使って、面白かった。
  - ・とても楽しかった。息抜きになった。
  - ・記念品が2つもらえたから楽しかった。
  - ・まさかこんな素敵な景品をいただけるとは、感謝です。
  - ・話題が決まっているので、声をかけやすかった。
  - ・全員の方と関われる時間が持った。
  - ・自分の好きなものでなく、当たりやすさから選ぶのが新しい視点だった。
  - ・初対面でも気軽に声をかけやすいきっかけになる。
  - ・記載内容がビンゴを当たてるためなのか自分の好きなものなのか分からない。
  - ・同じテーブル方と越えて話すことへの障壁が減った。
  - ・ルールが少しだけ人によって違って、戸惑うことがあったので、もう少し簡単が良かったかも？
- でもアイスブレイクとしてはとても和んだ感じがしました。
- ・ちょっと分かりにくかった。

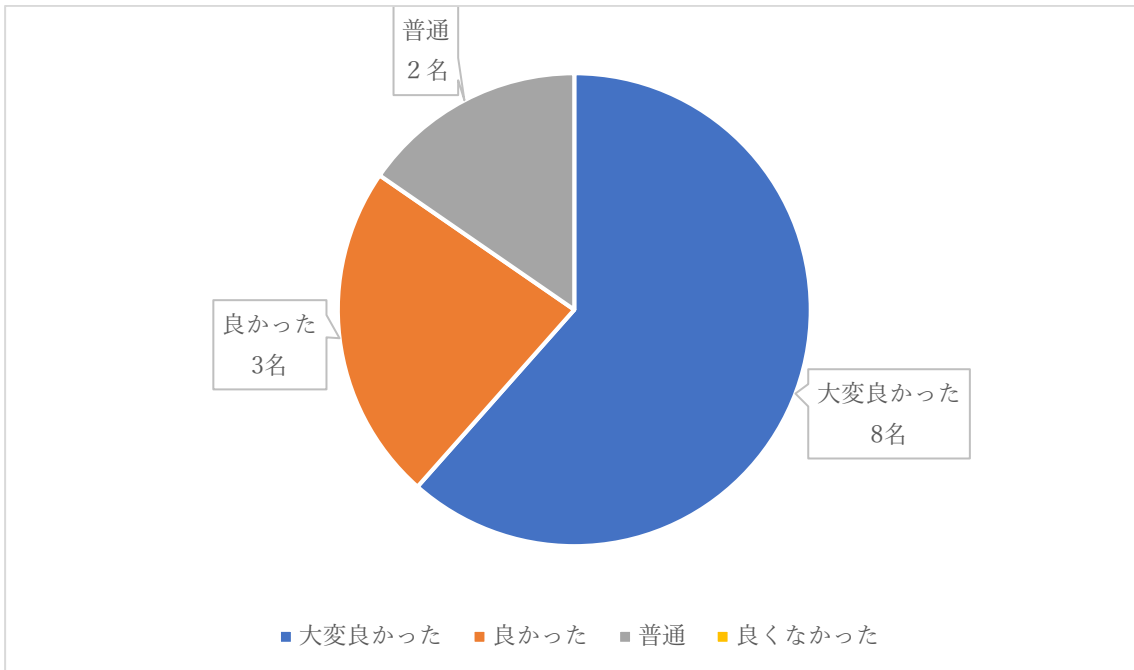
(3) アイスブレイク（ビンゴゲーム）の時間はいかがでしたか。



\*ご意見ございましたらご記入ください。

- ・ビンゴ中心で、自己紹介があまりできなかったのが寂しかった。
- ・本当に楽しかったです。頭が切り替えられました。

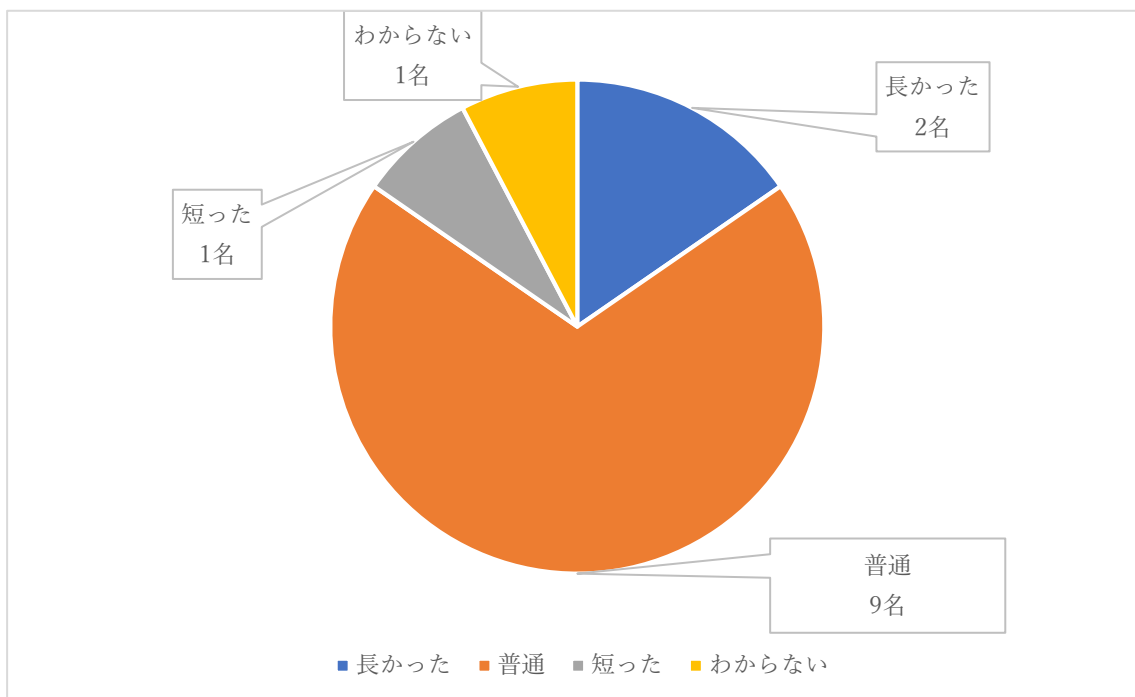
(4) みなトークタイムの内容はいかがでしたか。



**\*どんな点が良かった・良くなかったか、ご記入ください。**

- ・テーマにつながるディスカッションができた事大変嬉しかった。
- ・様々な人と話すことができた。
- ・課題が分かりやすかった。(いろいろな人の意見を聞いた。)
- ・もっと深く対策面を話す時間がほしい。
- ・新しい考えやアイデアを知ることができ、大変勉強になった。
- ・自分もある程度サービス内容も知っていたが、ママの声や保育士さんの声がこうあってほしいという声をきいて、もっとよくできる！と思えたり、実現していけると港区の子育てがさらに良くなると思った。
- ・多様な方々の意見や情報を得られたので良かった。
- ・有意義な内容で、最初から参加したかったです。
- ・様々な人と話すことができた。
- ・今後のより一層密なコミュニケーションに期待しています。

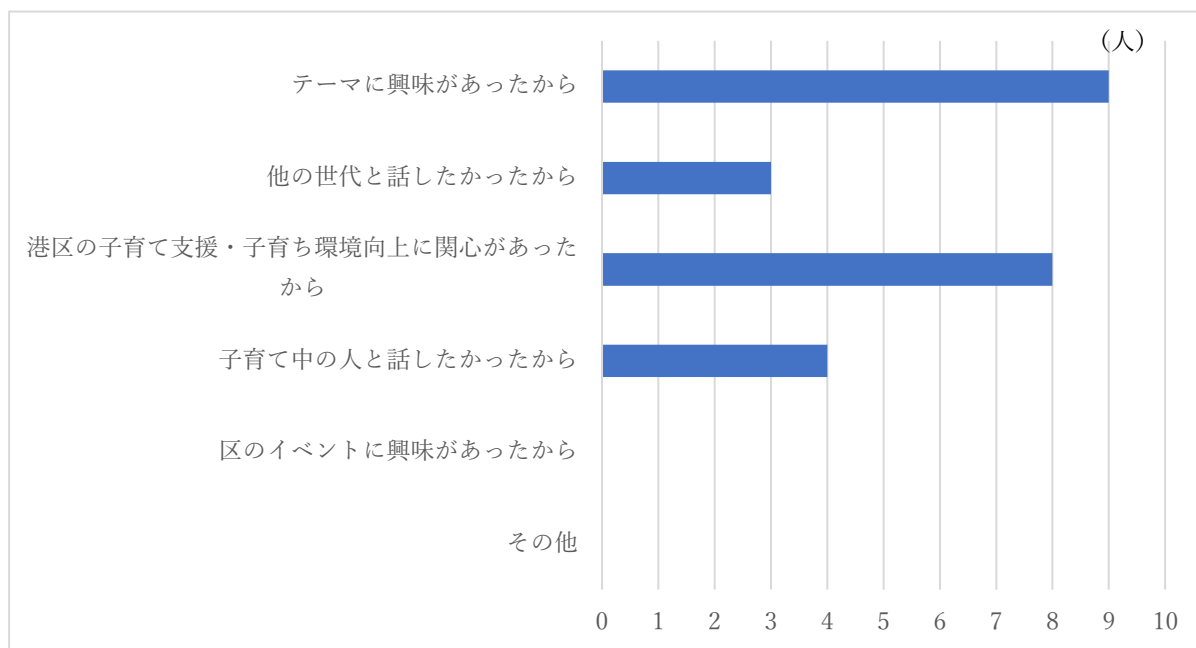
**(5) みなトークタイムの時間はいかがでしたか。**



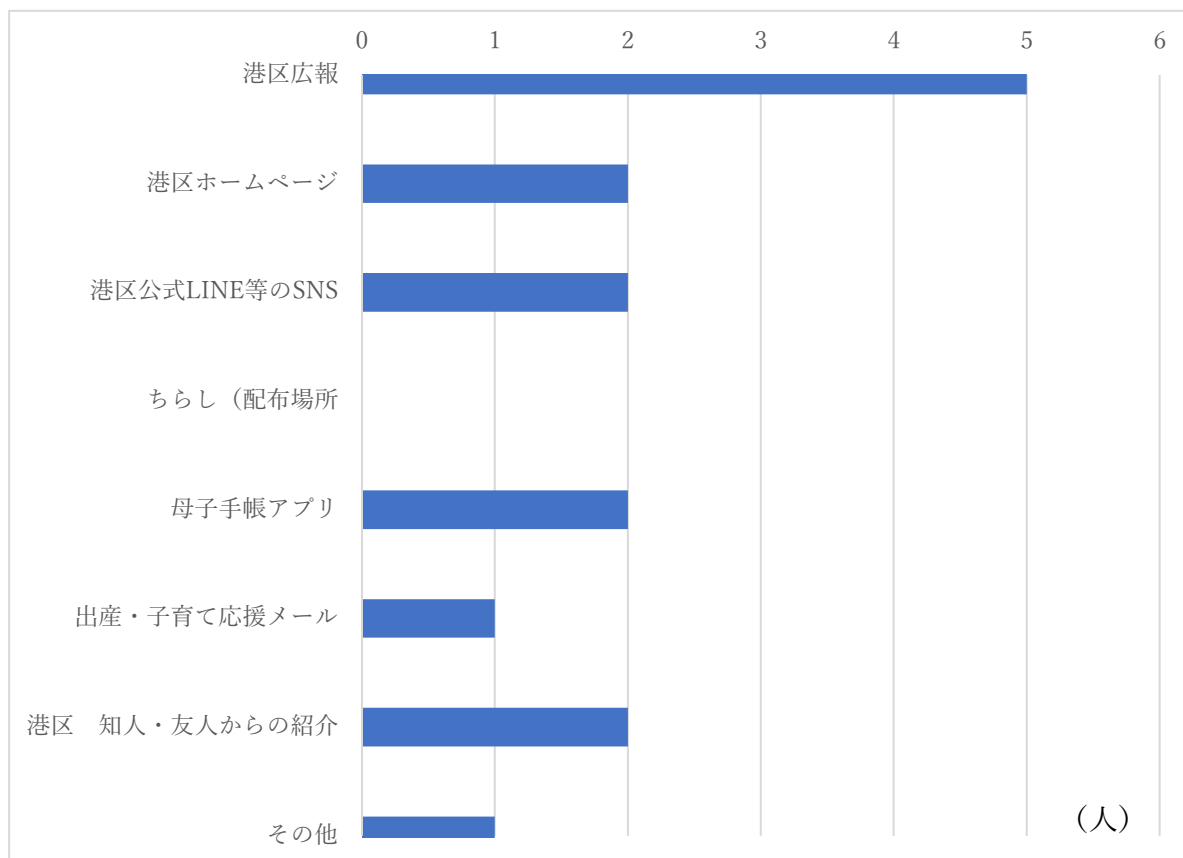
**\*ご意見ございましたらご記入ください。**

- ・2時間は丁度良かったと思います。
- ・できれば懇談会にもっと参加してほしかったと思います。

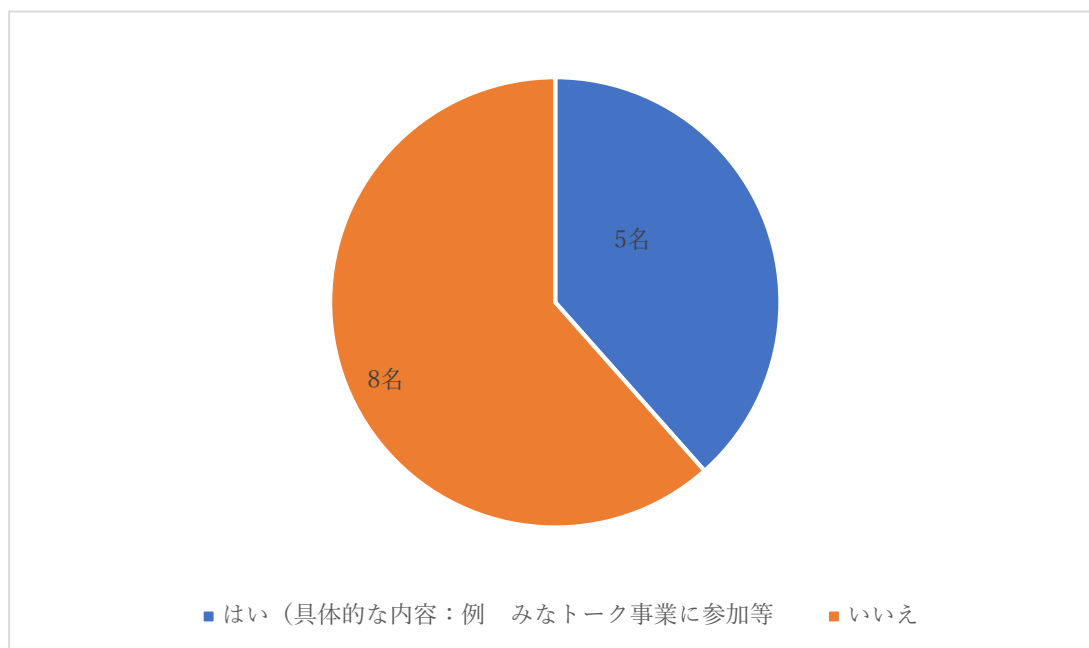
(6) 今回、「港区子ども・おとな・地域みなトーク事業」懇談会に参加しようと思ったきっかけ・理由は何ですか。



(7) 「港区子ども・おとな・地域みなトーク事業」懇談会の開催をどこで知りましたか。



(8) 今年度(2025年4月以降)新たに子ども・子育て支援に関わる活動や仕事を始めましたか。営利・非営利を問わず、どんな仕事や活動でも構いません。



**【具体的な内容】**

- ・ベビーシッターサービス
- ・みなトーク事業に参加等
- ・マタニティヨガ、ベビー教室マッサージ

(9) 「港区子ども・おとな・地域みなトーク事業」懇談会に対する感想、ご意見、ご要望等ございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・この事業ももっと周知して、参加者が多くなると良いと思います。申し込んでも欠席が多かったのが多かったのも気になりました。
- ・とても良い機会でした！
- ・本日はありがとうございました。皆さんとお話することで、改めて不便に思っていることや、今後に向けたサービスを考えることができました。ありがとうございました。
- ・この懇談会があることを、(Hello ママサロン・のんびりサロン(生後0~4ヶ月児)・うさちゃんクラブ)の場で案内してもいいかもと思いました。子育てをしてちょうど悩みや区のサービスに対してこうだったらいいなと思う時期に参加できると思います。
- ・もうすこし深掘りできると良いのではと思いました。
- ・すごく良いイベントだったので、また参加したいです！
- ・年に1回だけではなく、定期的に行ってほしい。
- ・今後のより一層密なコミュニケーションに期待しています。